



緑岡SSH通信

文部科学省認定スーパーサイエンスハイスクール

Vol.3

【2年生探究折り返し地点】

2年生の「SP 探究」もいよいよ年間の折り返し地点に差し掛かってきた。各教室を飛び出して、校内の様々な場所で実験等に取り組む姿を見ることができている。

SP 探究では文理は関係なく、生徒たちの発想を第一に探究学習に取り組んでいる。2月21日に開催予定の「SSH 成果報告会」でのポスター発表を目指して1年間の探究活動となっている。*1 どのようなテーマの発表となるかは是非、発表会当日をお楽しみにしていただければ幸いである。



本校の探究活動では、先行研究等の調査から始まり、最終のポスター発表までをひと流れで指導し、大学等これから先のステージでも応用の効く実践的経験を重要視している。

理数科だけでなく、普通科の緑高生も「知るを楽しむ」でいる。

*1 2学年はⅡ期のカリキュラムのため、Ⅲ期教育課程の「探究Ⅱ」ではありません



【1年生大学体験模擬授業を実施】

10月3日(木)に1年生フロアを会場に「大学体験模擬授業」を実施した。今回は下記の先生方をお呼びし、本校生徒は前半後半に分かれて2つの講義を受けた。

		氏名	所属・担当
1	茨城大学	田中 泉 たなか いずみ	人文社会学部 教授
2	茨城大学	三輪 壽二 みわ しゅうじ	教育学部 教授
3	茨城大学	山口 崇英 やまぐち たかひで	理学部 助教
4	茨城大学	上塚 浩司 うえつか こうじ	農学部 教授
5	中央大学	山城 雅江 やましろ まさえ	総合政策学部 准教授
6	千葉大学	小林 範久 こばやし のりひさ	大学院工学研究院 教授
7	東北大学	芳賀 聡 はが さとし	農学部生物生産科学専攻 准教授
8	筑波大学	武田 多一 たけだ たいち	医学類 教授
9	筑波大学	吉田 滋樹 よした しげき	生物資源学類 准教授
10	筑波大学	小川 美登里 おがわ みどり	比較文化学類 准教授
11	茨城県立医療大学	滝澤 恵美 たきざわ めぐみ	理学療法学部 教授



大学の先生方も非常に分かりやすく、興味をそそるテーマでご講義いただいた。1年生に

とって、自身が専門としたい学問とは何かを見つめる良い機会になった。



【マレーシア短期留学募集開始！】

10月1日(火)放課後に、今年度の短期留学説明会を実施した。昨年度まではカナダ、ブリティッシュコロンビア大学への1週間の短期留学で英語力を磨いてきた本プログラム。今年度からはSSH 第Ⅲ期もスタートしたことも受け、内容を大幅に変更した。

まず、渡航先を【マレーシア】に変更。そして、マレーシアでも指折りの大学である【USM(マレーシアサイنز大学)】へ変更した。世界大学ランキング(QS ランキング)146位の名門校。期間も拡張して11日間とした。



この11日間のなかで、

- ①語学を磨くトレーニングやセッション
- ②USM のラボ訪問
- ③現地のスタートアップ企業への視察
- ④現地セカンダリースクールとの交流

を実施予定である。さらに、この研修には茨城大学と USM で実施される留学プログラムも同時に進行しており、我々のプログラムに茨城大学生も帯同する場面もある。日本のマレーシアの国立大学、現地州立の中等学校と茨城県の公立高校が一つのプロジェクトで協力体制を構築する、とても特別なプログラムとなっている。

非常に内容は盛りだくさんであるが、実はこれではとどまらない。クアラルンプールはトランジットの地ではあるが、日本への帰国の途中で訪問し、東南アジアの文化や伝統そして、勢いのあるモンスーンアジアの経済力も肌で感じてもらう。そして渡航する時期はなんと【ラマダーン】の真ただ中！日本においては到底感じることのできない、イスラム文化の世界も味わってもらい、文理の分け隔てなく充実した研修となるようにプログラムを編成した。



説明会満席。本プログラムをデザインした、本校主幹教諭のプレゼンにより詳細な説明を受けている様子が、左の写真である。

緑岡完全オリジナルで作成された語学研修プログラム、渡航までの準備の様子や、現地での様子、帰国後の取り組みなどについても SSH 通信でご紹介予定であるので、今後にご期待いただきたい。